

# 予算公表

平成25年度  
南部水道企業団の予算概要

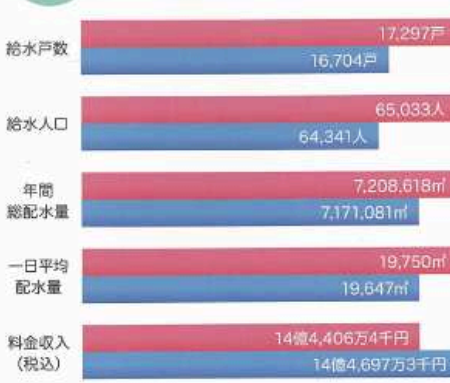


業務の予定量

平成25年度の業務予定量は、給水戸数が17,297戸で、前年度当初予算に比べ593戸増加、給水人口についても65,033人で、前年度に比べ692人の増加を見込んでおります。年間総配水量は、7,208,618m<sup>3</sup>で前年度に比べ37,537m<sup>3</sup>の増加を見込んでおります。

しかしながら、水道使用料による給水収益については、一般家庭における節水意識の浸透や節水型機器の普及、事業所等の雨水再生利用等、使用形態の変化などが見られ、前年度に比べ、290万9千円減収の14億4,406万4千円(税込)を見込んでおります。

## 業務の予定量



収益的収支(損益計算書へ)

収益的収支の総事業収益は、13億9,493万9千円(対前年度比0.13%減少)で、総事業費用は、13億4,694万5千円(対前年度比0.14%増加)となっております。総事業収益から総事業費用を差し引いた当年度純利益見込額は、4,799万4千円となります。

内 訳	予算額(税抜)
収入	13億9,493万9千円
給水収益	13億7,529万9千円
その他の営業収益	1,326万7千円
営業収益以外の収益	637万3千円
支出	13億4,694万5千円
人件費	1億7,206万7千円
動力費	3,330万5千円
薬品費	59万1千円
修繕費	6,031万6千円
委託料	8,198万円
その他の維持管理費	7,489万1千円
受水費	6億4,369万5千円
減価償却費	2億2,351万円
資産減耗費	670万4千円
支払利息	4,952万1千円
その他雑支出	36万5千円
当年度純利益	4,799万4千円

その他の営業収益:主に下水道の徴収事務受託料、消火栓の維持管理負担金、公共工事などで廃止となる施設の補償金などがあります。

営業収益以外の収益:預金利息、料金の督促料や延滞金、メータの再評価による資産の増額分などが含まれます。

動力費:浄水場、ポンプ場などの運転にかかる費用です。

薬品費:原水から安全な水道水をつくるために必要な薬品を購入します。

修繕費:施設や備品の補修にかかる費用です。

委託料:人件費経費削減が期待できる分野で、専門技術を持った民間企業などへの業務委託をする為の費用です。

その他の維持管理費:燃料費、光熱費、備品・消耗品などが含まれます。

減価償却費:施設や備品などの資産価値が減少していく金額を費用化したものです。現金の支出を伴わない費用です。

資産減耗費:使用不能などにより処分した資産の残った資産価値を減額する現金支出を伴わない費用と、その資産を解体、撤去、処分する現金支出の伴う費用があります。

受水費:県企業局から水を購入するための費用です。



資本的収支

資本的収入としては、国庫補助事業に係る補助金2,850万円、その他の資本的収入1,873万1千円で総額4,723万1千円を見込んでおります。

資本的支出としては、建設改良費1億6,784万9千円、企業債償還金1億2,39万4千円の総額2億7,024万3千円となっております。

建設改良費のうち国庫補助事業は、配水管布設工事(八重瀬町伊弉土地区画整理地区、南風原町津嘉山北土地地区画整理地区及び山川地区内の延長約2,500m)を総工事費5,700万円で予定しております。また、単独事業は、国道及び県道の改良工事に伴う配水管布設工事、未整備地区の配水管布設工事、消火栓設置工事を事業費9,134万9千円にて予定しています。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億2,301万2千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額567万7千円と減債積立金4,915万3千円及び過年度分損益勘定留保資金1億6,818万2千円によって補てんすることとなっております。



内 訳	予算額(税込)
収入	4,723万1千円
補助金	2,850万円
其他資本収入	1,873万1千円
支出	2億7,024万3千円
建設改良費	1億6,784万9千円
企業債償還金	1億2,39万4千円
収支差引	2億2,301万2千円
補てん財源	2億2,301万2千円
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	567万7千円
減債積立金	4,915万3千円
過年度分損益勘定留保資金	1億6,818万2千円

平成25年度の水道事業運営にあたっては、前年度に引き続き「安心・安全な水の安定供給」に努めるとともに、「効率的で健全な事業経営」に継続して取り組んでまいります。

## 資金の流れ図

